文政十二年己丑　月　日病死仕出ル分

小川伊之助
坂部多聞

金拾両宛

分部左京亮ヶ所ニ近来ニ成候病死ニ付死骸為検
使江戸大海ニ出ス者ニ付
右於焼失ニ付相紛ル中ニ

一文政十二丑年十二月ヶ条者書ヶ諸向附屋敷ニ而悪ニ改賦
ありて根元と唱ヘ十二月ヶ条ニ改ル仕法ニ付
日青山下野守殿ヶ条ニ
於海ヶ近有ニ付
入用ニ付小ニ而難
振合ニ付何小ニ
也も羽織袴ニ付合時
難ニ付海ヶ近年ニ
乗ヶ者ヶ向度ニ
ヶ人ニ而也

古ニ付ニ
新ニ所ニ
ヶ近ニ
改ル
改ル
ニ付
ヶ
ヶ
ヶ

押合同役中合九兵衛氏押合を同役に為相談
一日〜の内合三十丈掛りに付押合同役中
相入美形の絵組示形御〜〜〜八百兵衛中分
同役容益十丈余り〜おそり物を主張又
色〜紙包物〜青菓莫大〜也加様〜〜〜
紙紙絵右より輪形方に進て〜依る此度右〜〜
此度の内〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
重〜此度掛〜〜〜〜於御中〜〜〜〜
依〜右左別〜〜〜〜〜〜押合向〜〜〜〜入用
麻丈お省き書状〜紙〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

此度掛坂中勢右衛門役事勤〜〜〜〜〜〜
去月掛中再勤〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
此度右社〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
五年〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
〜も〜役掛〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
由一様掛中〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
眼〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
様〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
仁〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

以仁の積悪別て一巻に記せ
る様出相の厳様申に御遠方に先達而御奏上仕様
相分り次第に御奏聞仕候事ハ如何様に仕候
ハゝ御尤に存奉候 実成度に御様子に
て御奏上仕候様 尤通 永井
内膳殿 伺候 加役 右社
右衛門 加役 右社 尤度と上様迄て永調に成者時に被
有之 御奏聞 雖然 三万石以下 七万石 寺社
領に用捨仕候 坊を抜 御奏聞 無之 御
奏聞 しかハ御用捨 十四人中 合 那 先達通

御奏聞 相成 寺社 奉行 に 御達 に 通
御用捨 仕 に 成 通達 被仰 渡 御 奏聞 も 無之
御 古 ハ 朝 敵 と 被 大 名 方 に 有 に 成 御 奏 聞 者 尚 者
に 也 堀 渡 御 用 捨 を 御 例 成 に 於 御 奏 聞 に 方 相
渡 御 奏 者 成 に 也 迷 惑 も 一 有 に 由 に 表 坊 を 御 成
使 に 渡 被 仰 渡 ハ 新 に 坊 を 也 に 勤 め 御 用
捨 仕 坊 に 右 同 様 に 御 渡 文 今 御 用 捨 仕 坊 を 御 成
成 玉 右 同 様 に 写 御 奏 者 尚 者 に 御 渡 尚 者 に 御 奏 者
文 今 又 に 堀 尚 に 御 渡 の 今 相 成 様 に 有 に 成 達 ハ
後 御 奏 聞 方 に 書 状 に 御 渡 に 一 様 に 成 様 に

遠近之[illegible]ハ内史初[illegible]表物[illegible]組[illegible]ハ[illegible]奏[illegible]
内[illegible]最初[illegible]高[illegible]一ヶ月[illegible]
[illegible]
[illegible]中[illegible]改格[illegible]
知[illegible]二月[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]出[illegible]改[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
文政十二丑年十二月辰[illegible]方[illegible]の星[illegible]
改華元一本
一本十二
[illegible]
○改格ハ功者ナ寺社ニメ諸向不入徳之損也云云
徳ノ行サル物成一本
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

武川柳

古いらち又出て寺をあらすなり

文政十二年寅八月[illegible]防守殿出家[illegible]書付写

[illegible]人より[illegible]持不申及不[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右之通申上[illegible]

八月

題勤番壮士

今春出国初勤番　平日不忘君恩深

身纏手織木綿縞　腰帯短刀右京柄

常言戦場討死事　自誇鑓剣免計話

軍書讀盡腹胸中　甲冑陣法不入氣

角力番附少々好　芝居看板曾不知

又言御国穀生嘶　籏本弓術取不足